

戦気 NO-37

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



2010年 三谷大和スポーツジム 今年を振り返って!

2010年も余すところ僅かとなり忙しい年の瀬を迎えています。私は今年も2月9日の福本雄基、加藤健太戦から12月6日の福本雄基タイトルマッチ戦までの全25試合を後楽園ホールで観戦し、写真を撮り、記事を書き、ニュースを発行し、ホームページを更新しました。1年間で様々なことがありましたが、私の頭に浮かんだ三谷大和スポーツジムの「2010年を振り返って」を考えてみました。



岩井大、東日本ボクシング協会11月度新鋭賞受賞(2回目)

岩井大、日本スーパーフェザー級2位の松崎博保選手に勝利

11月期日本スーパーフェザー級5位にランクイン(11月26日)



ランキング2位の松崎博保選手はテクニシャンで知られているが大は初回から真っ向勝負に出た。前半は松崎選手がやや優勢であったが後半は大が試合をコントロールし8回終了で見事な判定勝利。この勝利により昨年10月期に続き2度目となる東日本ボクシング協会11月度月間新鋭賞に輝く。

福本雄基、三谷ジム初の日本スーパーフライ級タイトルマッチ

全力で戦ったが7ラウンドTKO負けを喫した(12月6日)



佐藤洋太チャンピオンに積極果敢にチャレンジしたがチャンピオンの速いジャブ、強いストレート、距離を取るアウトボクシングに翻弄され残念ながら7ラウンドTKO負けを喫し戴冠はならなかった。福本は既に練習を再開したがまだ24才だ。今回の敗戦を糧として前進しよう。

鬼ヶ島竜、濱中優一選手に1ラウンドKO勝ちでリベンジ

11月期日本ミニマム級3位にランクアップ(11月26日)



3月、失神担架退場という屈辱のKO負けから雌伏8ヶ月。国際ジムの濱中優一選手にリベンジに燃える鬼ヶ島は初回57秒という短さでレフェリーストップの見事なTKO勝ち。鮮やかなKO劇で日本ランクは第3位にアップした。来年はタイトルマッチへ進むだろう。

三谷大和スポーツジムスパーリング大会『戦気杯』盛況

(第10回大会62試合: 4月29日、第11回大会86試合: 11月7日)



野外に特設リングを設置し恒例となっているアマチュアボクシングのスパarring大会。参加選手数は回を重ねるたびに増加し、秋の大会では北海道や大阪からの参加選手も見られ参加者は増加の一途。好天に恵まれアマチュア選手たちの熱戦が繰り広げられた。

斉藤司、レイジングバトル・フェザー級優勝、MVP受賞

3度目のMVP受賞(6月25日)



司は、賞金獲得戦でもあるレイジングバトル60kg級に出場し準決勝、決勝を勝ち抜き見事に優勝。同時にMVPも受賞。優勝賞金は50万円、MVP賞金は20万円を獲得した。司は、東日本新人王、全日本新人王に続いて3度目のMVPに輝いた。

三谷会長のコメント

今年のジムの目標は日本ランカーを6人創出することでしたが、半分の3人にとどまりました。小さいジムにとって日本ランカーを出すことじたいが大変なんですけど、みんなよくやっています。特に11月の岩井大の日本ランク2位の松崎選手を降し日本ランク5位に入った一戦、鬼ヶ島が濱中選手とのリベンジマッチで鮮やかなKO勝ちで日本3位にランクアップした一戦、12月の福本の日本タイトル初挑戦の一戦が今後の新しい三谷ジムの方向性を示しています。まだ三谷ジムとしては結果が出せていないけれど、この3人の日本ランカーがジムの牽引車として2011年を引っ張ってくれるでしょう。

スケジュール

12月26日 三谷大和スポーツジム忘年会



ごんごちゃんを見た!!

三谷大和ジムの2010年の年間戦績は25戦12勝13敗と一つの負け越でした。三谷ジムが年間戦績で負け越すのは珍しいことです。これもジムとして次のステップへの移行期間なのかと思えます。新たな2011年を輝かしい年にするために、今年を振り返り、反省点・克服点を明確にし「挑戦と変革」という目標を高く掲げ明日に向かって前進しよう。

編集後記 あと10日で今年も暮れ新たな年を迎えます。時間は連続しているのですが、一個人の気持ちが一瞬で一旦リセットし1月1日でリフレッシュします。来年はどのような年になるのでしょうか。自らの意思によって自分の道を切り拓いていきたいと思います。